

雪印系 シコクビエ

シコクビエに数品種（系統）があり，早～中系として秋山在来，祖谷在来，晩生系として雪印系シコクビエがある。

雪印系シコクビエは，茎葉が大型で多葉性であり，出穂がおそいため茎の硬化が遅く，収穫適期幅が長い。秋山在来や祖谷在来は，茎の硬化が早く，刈遅れると乳牛の嗜好性が悪くなるのに対して，雪印系は長期間にわたって嗜好性良好である。

また秋山在来，祖谷在来はイモチ病に弱い欠点があり，これらが水稻イモチ病の感染源として心配される向きもあるが，雪印系はイモチ病の発生が少いといわれている。その収量については次のとおり。



(10アール当り生草収量)

草地試験場 (栃木)	播種 6月2日	4.2 ^t (7月19日)	1.2 ^t (8月9日)	4.0 ^t (9月11日)	合計9.4 ^t
四国農試	播種 5月15日	3.6 ^t (6月26日)	2.2 ^t (7月30日)	3.3 ^t (9月5日)	1.4 ^t (10月15日) 合計10.5 ^t
佐賀農試	播種 5月18日	2.4 ^t (7月5日)	3.1 ^t (8月2日)	3.5 ^t (9月2日)	2.0 ^t (10月20日) 合計11.0 ^t

シコクビエの飼料価値

生育時期	草丈 (cm)	乾物率 (%)	一般成分 (乾物中%)			消化率 (%)			TDN (%)	
			粗蛋白	NFE	粗繊維	粗蛋白	NFE	粗繊維	原物中	乾物中
伸長期	99	10.4	22.0	37.0	23.0	79.5	70.1	81.2	7.0	66.9
出穂期	133	10.9	19.4	38.1	24.7	77.7	65.8	75.0	6.8	62.0
開花期	149	12.8	16.1	42.5	25.6	78.3	68.8	70.8	8.1	63.6

(註) NFEは可溶性無窒素物

(阿部)